

クリエイト SD ホールディングス(3148)



— 引き続き最高益予想ながら出店が課題 —

神奈川県を中心にドラッグストアを展開するクリエイト SD ホールディングスが 11 日に発表した 2016 年 5 月期の業績は売上高が前期比 8.4%増の 2318 億円、営業利益が同 30.1%増の 139 億円となり、営業利益は過去最高を更新しています。

既存店売上高は、客数と客単価の両方が伸びたことで 3.5%増と堅調に推移しました。客数が品揃えの充実と単品ごとの特売価格政策により 1.0%増となったほか、客単価も売価の見直しや高付加価値品・大容量品の展開により 1.4%増となっています。

営業利益は売上高が順調な伸びを示すなか、粗利益率の上昇に加え、販管費比率の低下もあって 3 割増の大幅増益となりました。粗利益率は特売品価格を抑制し、単品ごとの特売価格政策をとったことや、高付加価値品の展開で前期比 0.5 ポイント上昇しています。また、販管費比率は水道光熱費や物流費などを抑えたことで 0.5 ポイント低下しています。

今期の計画は売上高が前期比 6.8%増の 2477 億円、営業利益が 5.3%増の 147 億円で、営業利益は引き続き最高益更新が見込まれています。新規出店はドラッグストアで 40 店、調剤薬局で 23 店の予定で前期を大きく上回ります。店舗開発の人員を増員してはいるものの、出店基準が厳しく設定されていることもあって前期同様に計画に届かない可能性もありそうです。

ご留意いただきたい事項

マネックス証券(以下当社)は、本レポートの内容につきその正確性や完全性について意見を表明し、また保証するものではありません。記載した情報、予想および判断は有価証券の購入、売却、デリバティブ取引、その他の取引を推奨し、勧誘するものではありません。当社が有価証券の価格の上昇又は下落について断定的判断を提供することはありません。

本レポートに掲載される内容は、コメント執筆時における筆者の見解・予測であり、当社の意見や予測をあらわすものではありません。また、提供する情報等は作成時現在のものであり、今後予告なしに変更又は削除されることがございます。

当画面でご案内している内容は、当社でお取扱している商品・サービス等に関連する場合がありますが、投資判断の参考となる情報の提供を目的としており、投資勧誘を目的として作成したものではありません。

当社は本レポートの内容に依拠してお客様が取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。

本レポートの内容に関する一切の権利は当社にありますので、当社の事前の書面による了解なしに転用・複製・配布することはできません。

当社でお取引いただく際は、所定の手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。お取引いただく各商品等には価格の変動・金利の変動・為替の変動等により、投資元本を割り込み、損失が生じるおそれがあります。また、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込み、損失が生じるおそれがあります。信用取引、先物・オプション取引、外国為替証拠金取引をご利用いただく場合は、所定の保証金・証拠金をあらかじめいただく場合がございます。これらの取引には差し入れた保証金・証拠金(当初元本)を上回る損失が生じるおそれがあります。

なお、各商品毎の手数料等およびリスクなどの重要事項については、「[リスク・手数料などの重要事項に関する説明](#)」をよくお読みいただき、銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身のご判断で行ってください。

マネックス証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号
加入協会:日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会